

コープ杯争奪 AOFA 第 3 回青森県 U-11 サッカー大会弘前地区予選 (チビリンピック予選)

開 催 要 項

- 1 名 称 コープ杯争奪 AOFA 第 3 回青森県 U-11 サッカー大会 弘前地区予選
(チビリンピック予選)
- 2 主 催 一般社団法人青森県サッカー協会
- 3 主 管 弘前サッカー協会第 4 種委員会
- 4 期 日 2023 年 10 月 28 日 (土) 29 日(日)
- 5 会 場 平川市平賀多目的広場
- 6 参加資格 ① 会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」)第 4 種に
加盟登録したチームであること(準加盟チームを含む)。
② 上記団体(チーム)に所属する選手であり「日本協会」の登録選手証を有す
るもの。ただし、写真添付により顔の認識ができるものであること。
※電子選手証とは、「日本協会」WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した
選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に
表示したものを示す。
※2012 年 4 月 2 日以降に生まれた選手(U-11)であること。男女の性別は問わ
ない。
③ 予選敗退の場合でも県大会へ審判動員派遣が可能な事。
- 7 チーム構成 (1) チームの編成は選手 16 名以上 20 名以下、指導者 1 名以上 3 名以下(うち
と条件 1 名以上は日本協会公認コーチ資格(D 級以上)を有すること)とする。
ベンチ入り人数は大会登録選手 18 名以下、指導者 1 名以上 3 名以下とする。
試合開始時点で、事故・怪我等が出てプレーできる選手登録人数が 15 名以下
になった場合は失格とする。
競技者の数は常に 8 人(うち 1 人は GK)とする。
第 1 ペリオド出場予定の 8 人、第 2 ペリオド出場予定の 8 人と、その交代要員
を予め明確にする(試合開始 10 分前までにメンバー表を審判へ提出する。メン
バー表には第 1 ペリオド、第 2 ペリオドの出場選手に印を付け、ベンチ外の選
手には二重線を引く。)交代要員含め同一選手の出場は最大で 2 ペリオドまで
とし、3 ペリオド全てに出場することは出来ない。事故・怪我等で出場が困難
な選手が発生し、出場可能な選手が 11 人以下になった時に限り、1 試合で 3 つ

のピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まれない)

※交代要員とは提出したメンバー表に出場印がついていない選手を指す。

第1ピリオド

予め決められた第1ピリオド出場予定選手が出場する。試合中の事故、怪我で交代する場合は交代要員が出場する。

交代選手全員が事故、怪我等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。第1ピリオド出場後、交代して退いた選手は再び出場できない。

第2ピリオド

予め決められた第2ピリオド出場予定選手が出場する。試合中の事故、怪我で交代する場合は、交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場は出来る。交代要員選手全員が事故、怪我等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。第2ピリオド出場後、交代して退いた選手は再び出場は出来ない。

第3ピリオド

第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員選手含めて誰でも出場できる。何回、何人でも交代ができ、一度退いた選手も再び出場できる。

交代について

第1ピリオドと第2ピリオドでの交代は原則認めない。

交代は交代ゾーンで行う。交代はインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、GKの交代はボールがアウトオブプレーになった時に、主審に通知した上で主審の許可を得て交代を行う。また、交代して退くGKは境界線の最も近い地点からフィールドの外にでなければならない。

(2) 選手は健康であり、保護者の同意のある者に限る。

(3) 参加チームは傷害保険に加入していること。

- 8 組み合わせ 第4種委員会での抽選とする。
- 9 大会形式 参加チームによる予選リーグを行い、その結果により順位決定トーナメントを行う。上位3チームは青森県大会へ出場する。
※県大会は県内6地区推薦の6チーム及び前年度U-10サッカー大会上位2チームの所属地区を加えた計8チーム
※前年度U-10サッカー大会枠は、弘前地区2チーム。計3チーム
- 10 競技規則 大会実施年度の「**日本協会**」 「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
※全試合一人審判制とする。
- 11 競技会規定 (1) 試合時間は12分×3ピリオドとし、ピリオド間のインターバルは5分とす

る

※第1ピリオドと第2ピリオド間は、3分以内でも可とする。

第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分を経過したところでサイドを替える。

同点の場合は、6分間（前・後半3分）の延長戦を実施する。

尚、決しない場合はPK戦で決定する。

延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

交替ゾーン

ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交替ゾーンを設ける

（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ）

(2)ピッチ

縦60～68m 横45m～50m センターサークルの半径：7m

ペナルティエリア=ゴールライン上、ゴールポストの内側から12m、その地点からゴールライン上に直角に12m

ゴールエリア=ゴールライン上、ゴールポスト内側に4m、その地点からゴールライン上に直角4m

ペナルティマーク=8m

ゴール=ゴールの内り縦2.15m、横5m

(3)テクニカルエリア 設置しない

(4) 警告・退場

①本大会は、「日本協会」「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

②競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することが出来る。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。

本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。

(5)選手の用具

「日本協会」のユニフォーム規程に準ずるが、運用緩和を一部適用する。

① 該チーム同士で着用するユニフォームを決定する、決まらない場合、60分前までに本部で主審が決定する。

②ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着

用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

③GKはビブス着用でも可とする。ショーツ・ソックスの色はFPと同色でも構わない。

④アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツ等を着用する場合、色はチームで統一されていれば可とする。

12 表彰 上位3チームに賞状を贈る

13 大会参加料 1チーム参加につき 円

※大会終了後参加料が決定してから振り込むこと。

14 その他 各チームスタッフ1名は定められた時間の間、会場準備、会場片付けにあたること。

施設内芝生部（ピッチ）には各チーム選手、スタッフのみ入れることとし、父兄の応援場所は、フェンス及びネット外から観戦応援してください。

また、応援席から選手の判断を奪うような指示は一切禁止とする。

会場および会場付近でのチーム関係者(応援の保護者等)の動向は、各チームで徹底すること。

15 大会規律委員 弘前地区責任者 佐藤明生

弘前地区審判委員長 板垣雅之

大会担当 天内和宏